

Ubiquitous Solution Company

KDDI CORPORATION

Designing The Future



2008年3月期第3四半期決算

2008年 1月25日

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績及び契約数は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1.1. 決算総括(1-3Q累計)

1 連結ベース

- 移動通信事業 (au + ツーカー) は引き続き堅調であり、新サービスの拡販途上にある固定通信事業の営業損失を吸収し、営業収益は前年同期比+7.2%、営業利益は同+17.4%の増収・増益。

2 移動通信事業 (au + ツーカー)

- 営業収益は前年同期比+6.3%、営業利益同+22.5%の増収・増益。
- 新販売スキーム「au買い方セレクト」を開始(11月12日)。
- 1-3Qの純増数は137万 (au:+188万、ツーカー:-51万) で、auの期末目標3,000万契約に向け、堅調に推移。
- 1-3QのMNP^{注1} による純増数は+48.1万 (au:+50.2万、ツーカー:-2.1万) 。
- auのWIN契約数は12月末1,813万と着実に増加。うち、パケット定額制契約率75%。

3 固定通信事業

- 営業収益は前年同期比-0.4%と減収(ただし、グループ外売上ベースでは+3.0%の増収)。営業利益は478億円の赤字。
- 12月末のメタルプラス^{注2}の契約数は327万、ひかりone (FTTH) は70万に増加。

(注1)MNP (Mobile Number Portability)。携帯電話番号ポータビリティ。

(注2)ADSL oneを含む。

1.2. 2008年3月期の業績見通し

期初予想 今回予想(増減)

1 連結ベースでは、主に移動通信事業が堅調に推移したことにより、期初予想に対し増収・増益の見通し。

▶ 営業収益	: 35,000億円	35,800 億円	(+ 800億円)
営業利益	: 3,900億円	4,140 億円	(+ 240億円)
- 移動通信事業	: 4,380億円	4,680 億円	(+ 300億円)
- 固定通信事業	: 560億円	640億円	(80億円)

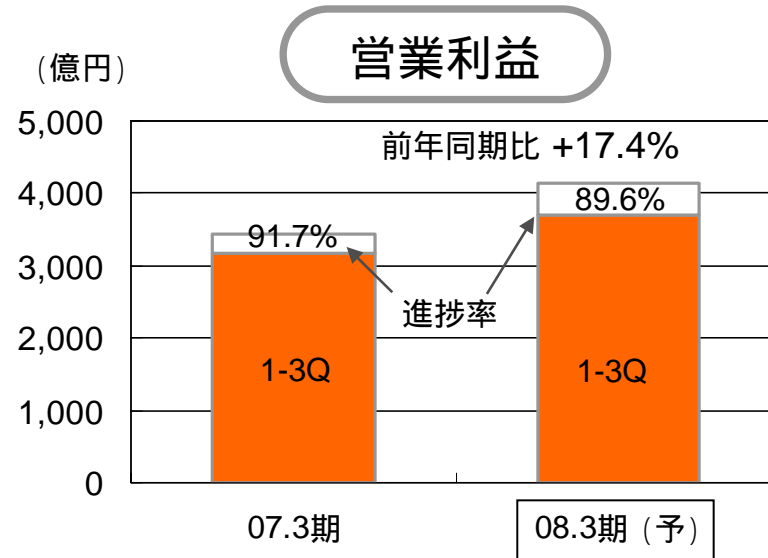
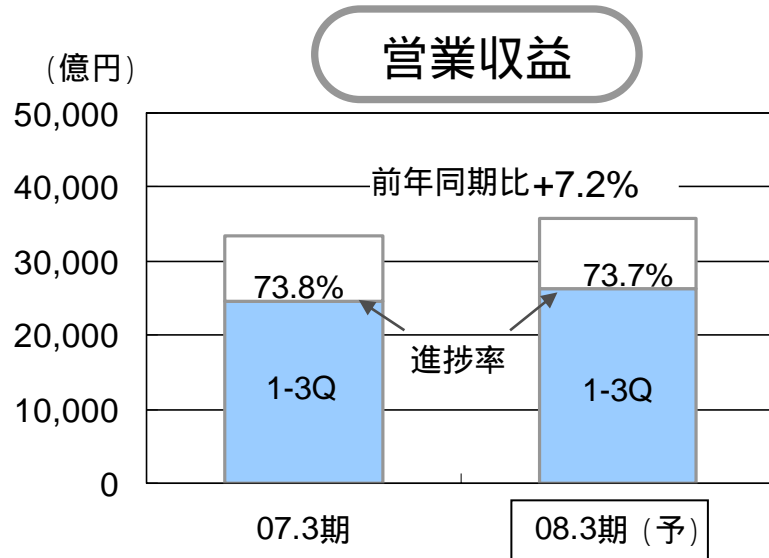
▶ 主な指標

- au ARPU	: 6,150円	6,240円	(+ 90円)
- au累計契約数	: 3,000万	3,000万	(- 万)
- au解約率	: 1.04%	1.00%	(0.04ポイント)
- au端末販売台数	: 1,570万	1,570万	(- 万)
- メタルプラス累計契約数	: 320万	327万	(+ 7万)
- ひかりone累計契約数	: 90万	73万	(17万)

2 ツーカー設備の撤去費等(120億円)と国内伝送路等の減損(200億円)を特別損失に見込む。当期純利益は2,200億円に変更なし。

3 設備投資は、au関連投資の増加により5,200億円(+200億円)の見通し。

2. 連結決算

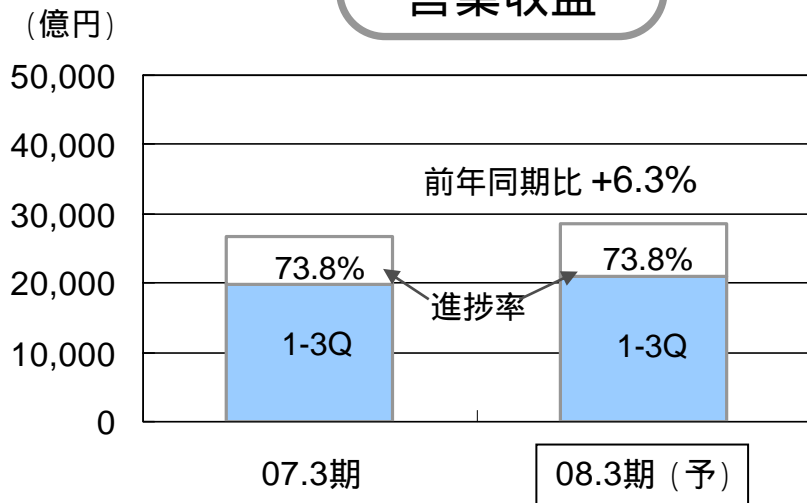


(億円)

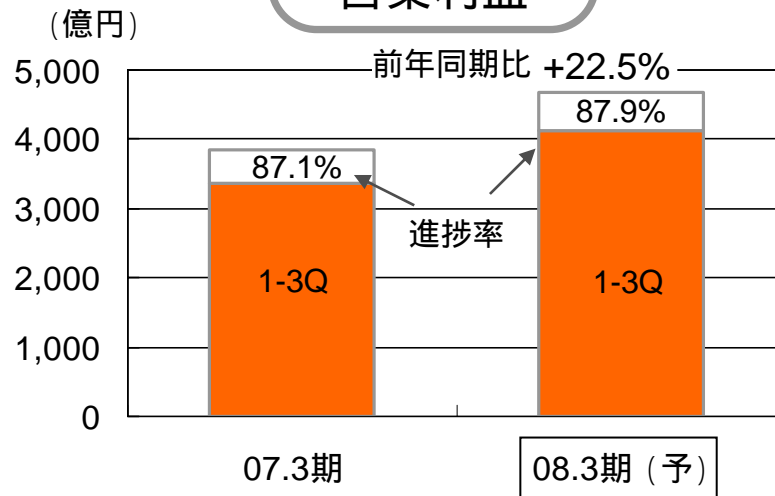
	07.3期		08.3期(予)				08.3期 期初予想
	1-3Q		1-3Q	前年同期比	進捗率	今回予想	
営業収益	24,625	33,353	26,387	7.2%	73.7%	35,800	35,000
営業利益	3,161	3,447	3,710	17.4%	89.6%	4,140	3,900
マージン	12.8%	10.3%	14.1%	-	-	11.6%	11.1%
経常利益	3,196	3,509	3,755	17.5%	89.4%	4,200	3,900
当期純利益	1,910	1,867	2,148	12.4%	97.6%	2,200	2,200
FCF	2,274	2,965	946	-	-	-280	20
EBITDA	5,642	6,917	6,399	13.4%	81.6%	7,840	7,700
マージン	22.9%	20.7%	24.3%	-	-	21.9%	22.0%

3. 移動通信事業 / au + ツーカー (PDC)

営業収益



営業利益



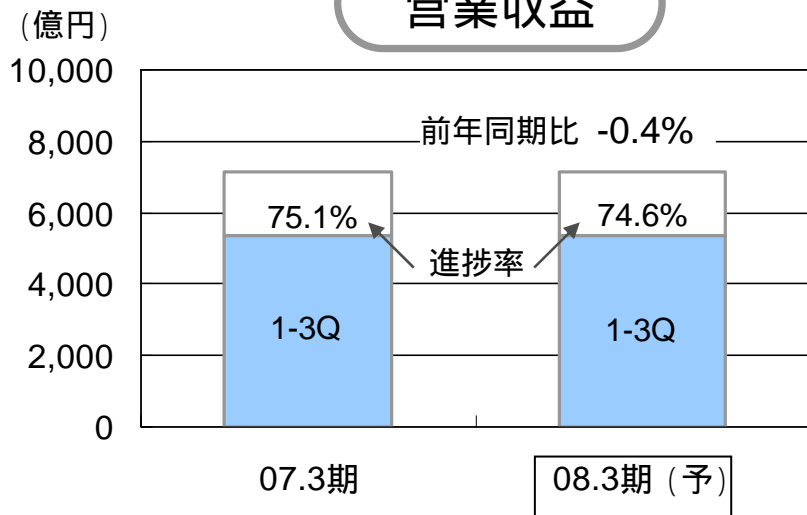
(億円)

	07.3期		08.3期(予)				08.3期 期初予想
	1-3Q		1-3Q	前年同期比	進捗率	今回予想	
営業収益	19,760	26,774	21,004	6.3%	73.8%	28,460	27,630
au	19,168	26,106	20,903	9.1%	73.7%	28,357	27,560
ツーカー	592	668	101	-83.0%	97.7%	103	70
営業利益	3,359	3,857	4,114	22.5%	87.9%	4,680	4,380
マージン	17.0%	14.4%	19.6%	-	-	16.4%	15.9%
経常利益	3,393	3,935	4,172	23.0%	87.5%	4,770	4,430
当期純利益	1,994	2,095	2,424	21.6%	89.8%	2,700	2,530
FCF	2,179	2,948	1,540	-	-	730	1,260
EBITDA	4,876	5,981	5,842	19.8%	82.7%	7,060	6,810
マージン	24.7%	22.3%	27.8%	-	-	24.8%	24.6%

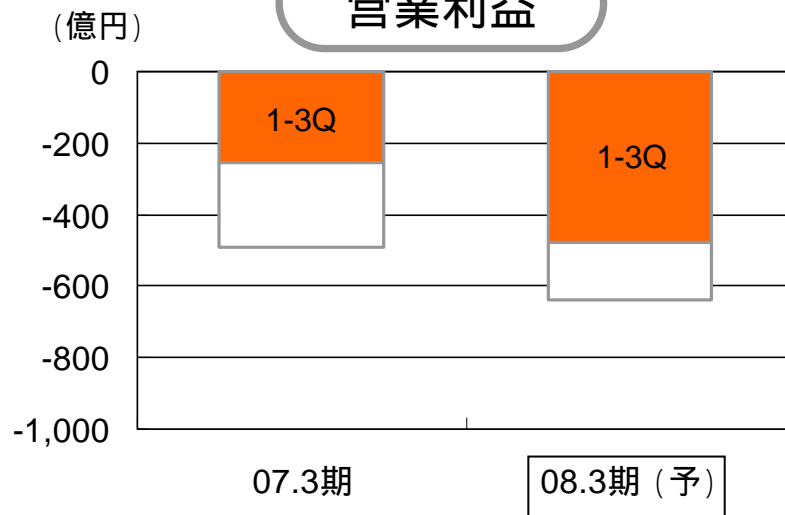
	07.3期		08.3期(予)		08.3期 期初予想
	3Q		3Q	今回予想	
契約数(千)	27,226	28,188	29,555	30,250	30,000
内モジュール系	658	699	801	810	740
au 計	25,798	27,317	29,196	30,000	30,000
WIN(EV-DO)	12,520	14,549	18,126	19,000	18,750
1X	12,622	12,170	10,613	-	-
cdmaOne	656	597	456	-	-
ツーカー(PDC)	1,428	872	359	250	0

4. 固定通信事業

営業収益



営業利益



赤字のため前年同期比はN.A.

(億円)

	07.3期		08.3期(予)				08.3期 期初予想
	1-3Q		1-3Q	前年同期比	進捗率	今回予想	
営業収益	5,364	7,144	5,343	-0.4%	74.6%	7,160	7,330
営業利益	-255	-490	-478	-	-	-640	-560
マージン	-4.8%	-6.9%	-8.9%	-	-	-8.9%	-7.6%
経常利益	-254	-472	-474	-	-	-650	-600
当期純利益	-128	-234	-300	-	-	-530	-350
FCF	174	63	-266	-	-	-620	-950
EBITDA	680	809	427	-37.2%	72.4%	590	730
マージン	12.7%	11.3%	8.0%	-	-	8.2%	10.0%

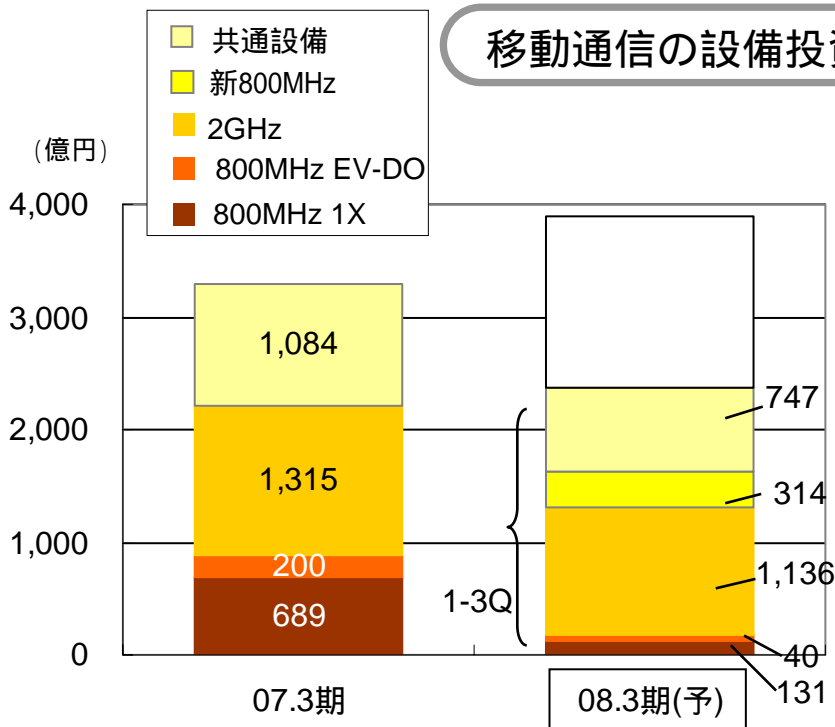
契約数 (千)	07.3期		08.3期(予)		08.3期 期初予想
	3Q		3Q	今回予想	
ADSL	1,531	1,512	1,437	1,400	1,500
ひかりone(FTTH)	216	(注1)592	698	730	900
メタルプラス (注2)	2,607	2,813	3,271	3,270	3,200

(注1) ひかりone(FTTH) 契約数は07.3期末より旧TEPCOひかり回線を含む。

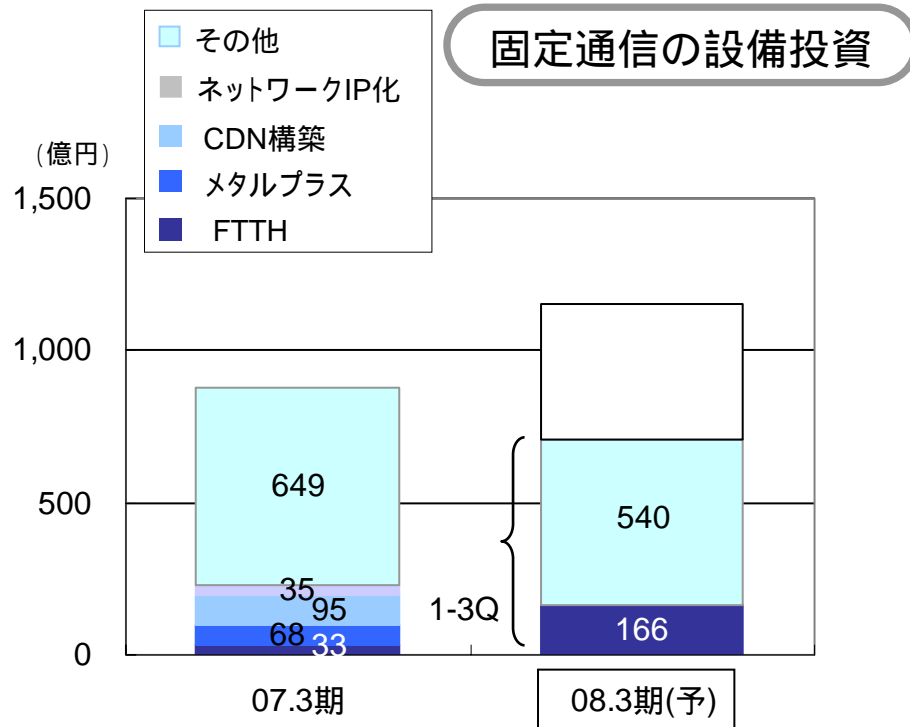
(注2) ADSL one(メタルプラス利用時のADSL)を含む。

5. 設備投資

移動通信の設備投資



固定通信の設備投資



(注) 08.3期よりFTTH以外は全てその他に分計

		07.3期		08.3期(予)				08.3期
		1-3Q		1-3Q	前年同期比	進捗率	今回予想	期初予想
設備投資(支払)	連結	2,966	4,385	3,183	7.3%	61.2%	5,200	5,000
	移動通信	2,178	3,289	2,367	8.7%	60.7%	3,900	3,700
	固定通信	641	880	706	10.1%	61.4%	1,150	1,170

各事業の状況

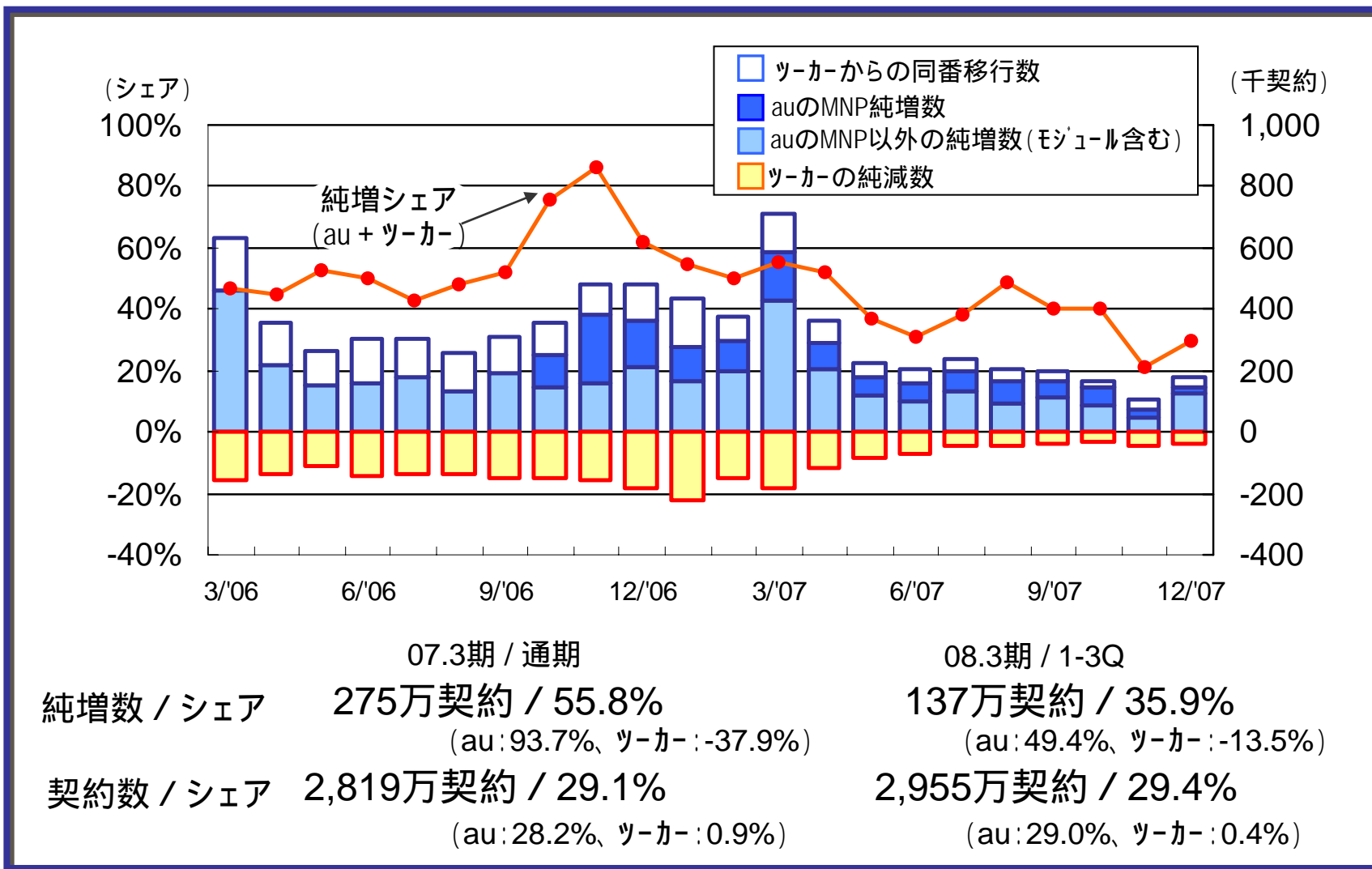
移动通信事業
au / ツーカー(PDC)

固定通信事業

その他のトピック

1.1. KDDI (au + ツーカー) の純増

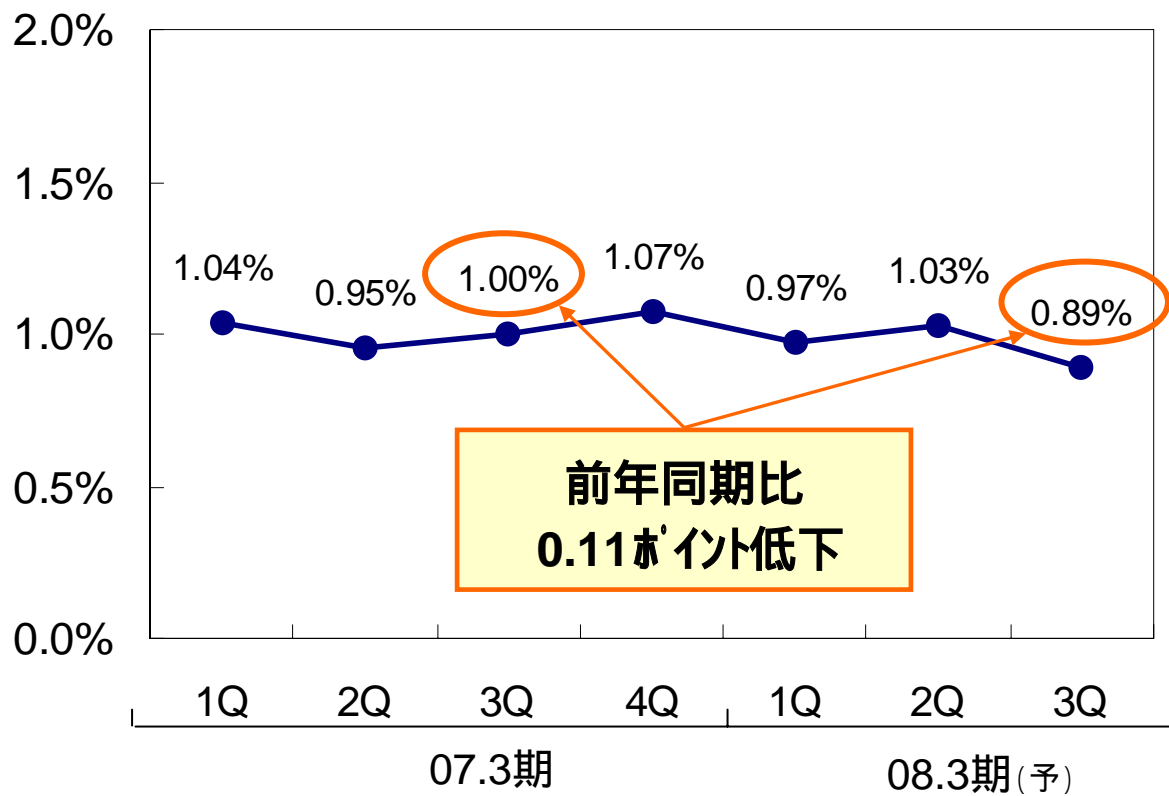
1-3Qの純増数は137万で、auの期末目標3,000万契約に向け、堅調に推移。



(注) イー・モバイルの契約数については四半期開示のため、月次のグラフには含めないが、1-3Qのシェアには含める。

1.2. auの解約率

3Qの解約率は0.89%と、前年同期比0.11ポイント低下。

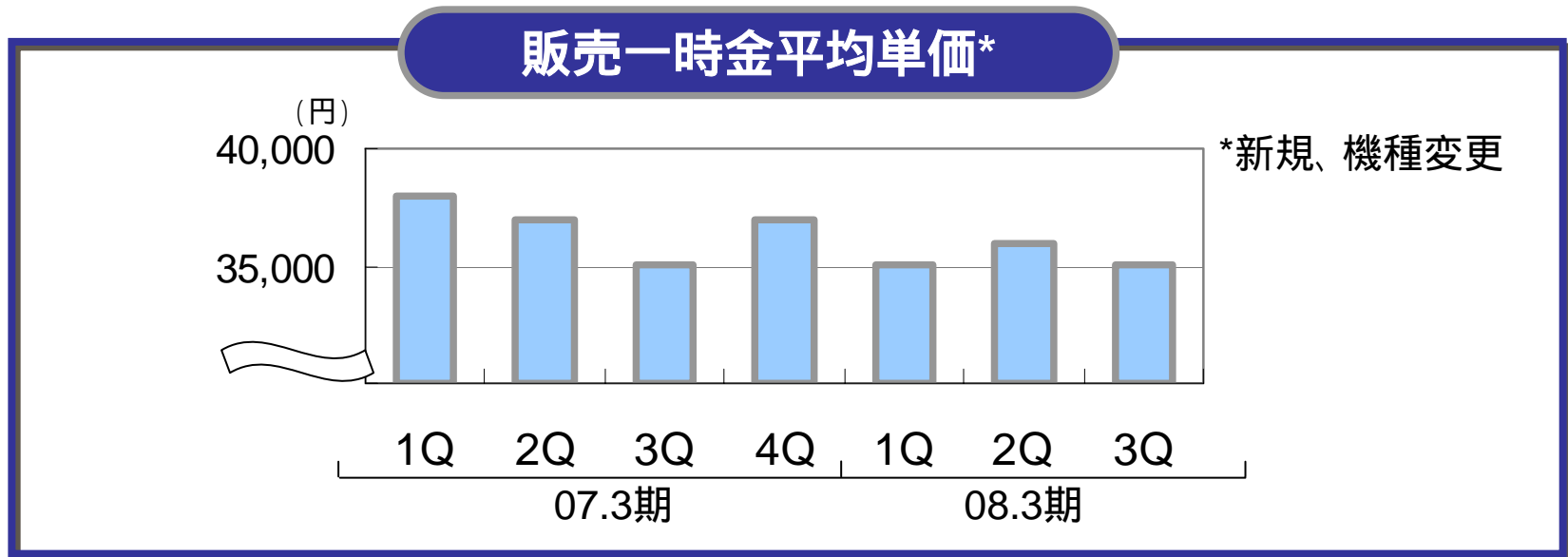


通期平均	<1.02%>	今回予想	<1.00%>
		期初予想	<1.04%>

(注) 解約率はモジュール系を除く。

1.3. auの販売一時金

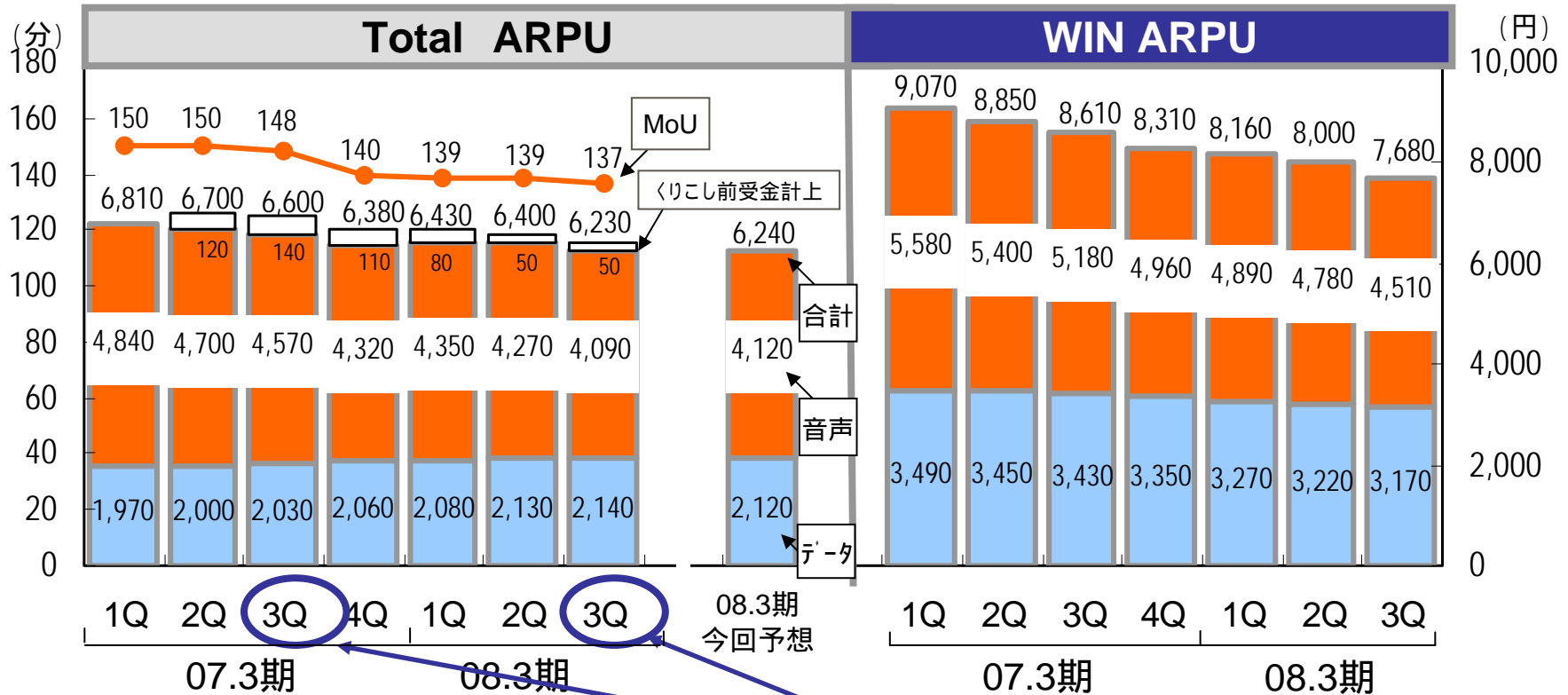
3Qの販売一時金平均単価は、2Qに比べ低下し、35,000円。



	07.3期				5,680	08.3期(予)			今回予想 5,650	08.3期 期初予想 5,650
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q		
販売一時金総額 (億円)	1,240	1,290	1,450	1,700		1,240	1,490	1,300		
販売一時金平均単価(円)	38,000	37,000	35,000	37,000	37,000	35,000	36,000	35,000	36,000	
販売台数(万台)	327	352	411	465	1,555	353	408	370	1,570	

1.4. auのARPUの推移

ARPUの高いWINの契約数割合の上昇により、全体のARPUを下支え。



通期平均	07.3期	08.3期(予)	
		期初予想	今回予想
合計	6,610円	6,150円	6,240円
うち 音声	4,590円	4,100円	4,120円
データ	2,020円	2,050円	2,120円

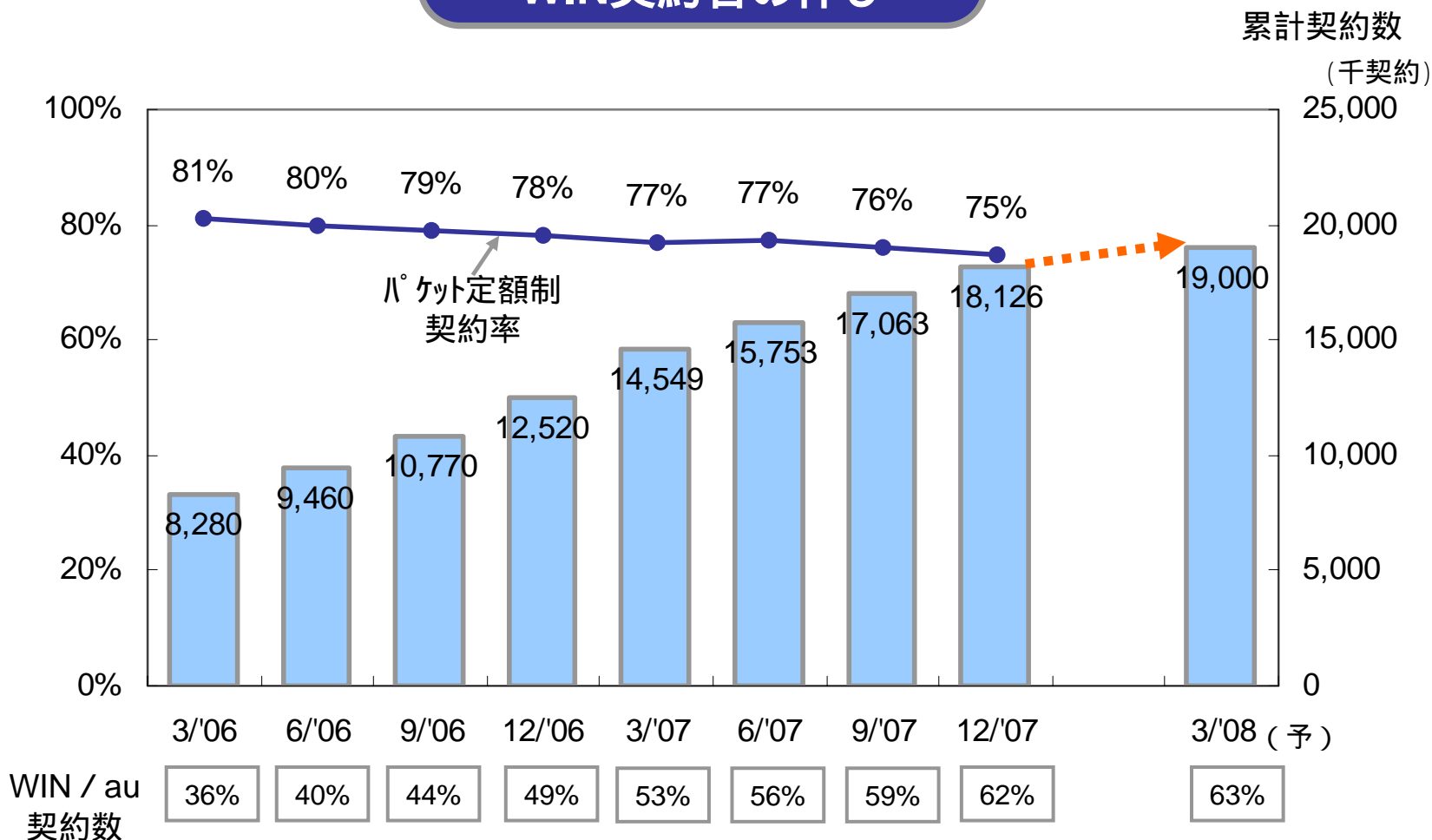
前年同期比	
合計	370円 (5.6%)
うち 音声	480円 (10.5%)
データ	+ 110円 (+ 5.4%)

1.5. WINの状況

12月末時点でWINの契約数の割合はau全体の62%に増加、
うち、パケット定額制の契約率は75%と引続き高水準。



WIN契約者の伸び

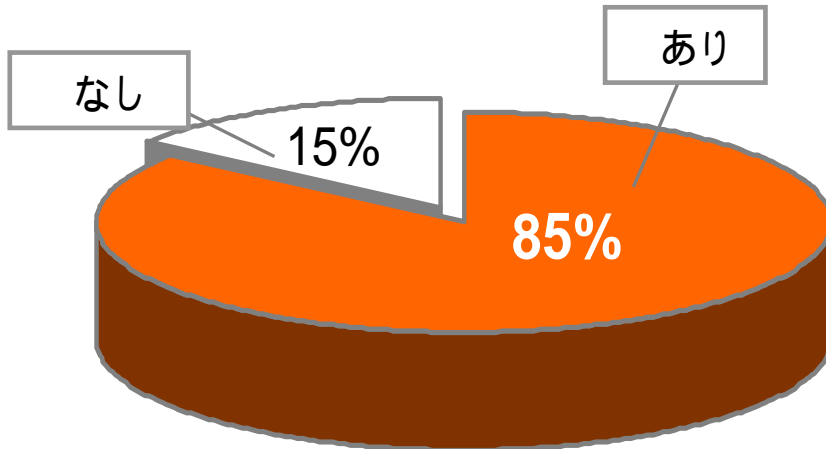


2. 「au買い方セレクト」の初期状況 (1)

新販売スキーム「au買い方セレクト」を開始(11月12日)。開始1ヶ月半であり、評価を下すには時期尚早ではあるが、導入初期においては9割を超えるお客様がフルサポートコースを選択。

8割を超える高い比率でお客様が「安心ケータイサポート」(月額税込:315円)に契約されており、新たな収入機会を創出。

安心ケータイサポートの契約状況



- ・5年保証サービス
- ・修理代金割引サービス
- ・水漏れ・全損時リニューアルサービス
- ・紛失時あんしんサービス
- ・電池パック無料サービス
- ・無事故ポイントバックサービス

(注)フルサポートコース及びシンプルコース契約数合計に対する割合。(対象期間2007.11.12 - 12.31)

(参考)「フルサポートコース」(販売奨励金モデル新スキーム)はケータイをこれまでのように初期負担は少なく購入されたいお客様に、「シンプルコース」(分離モデル)はケータイを買い替えるよりも毎月の利用料金を抑えたいお客様に適したコース。

2. 「au買い方セレクト」の初期状況 (2)

「au買い方セレクト」開始後、新機種待ちと駆け込み需要の反動等もあり、店頭への客足が幾分鈍化。年度末商戦に向け、端末ラインナップの強化と同スキームの理解促進を図る。

初期の
 反応

来店されたお客様

フルサポートコースの場合

- ▶ 端末の店頭価格が以前と変わらないことを理解。
- ▶ 端末の契約期間が2年であることについても理解。

来店されないお客様

- ▶ 新機種待ちで様子見。
- ▶ マスコミ等の情報により端末の店頭価格が一律高くなると誤解。
 (駆け込み需要、様子見)

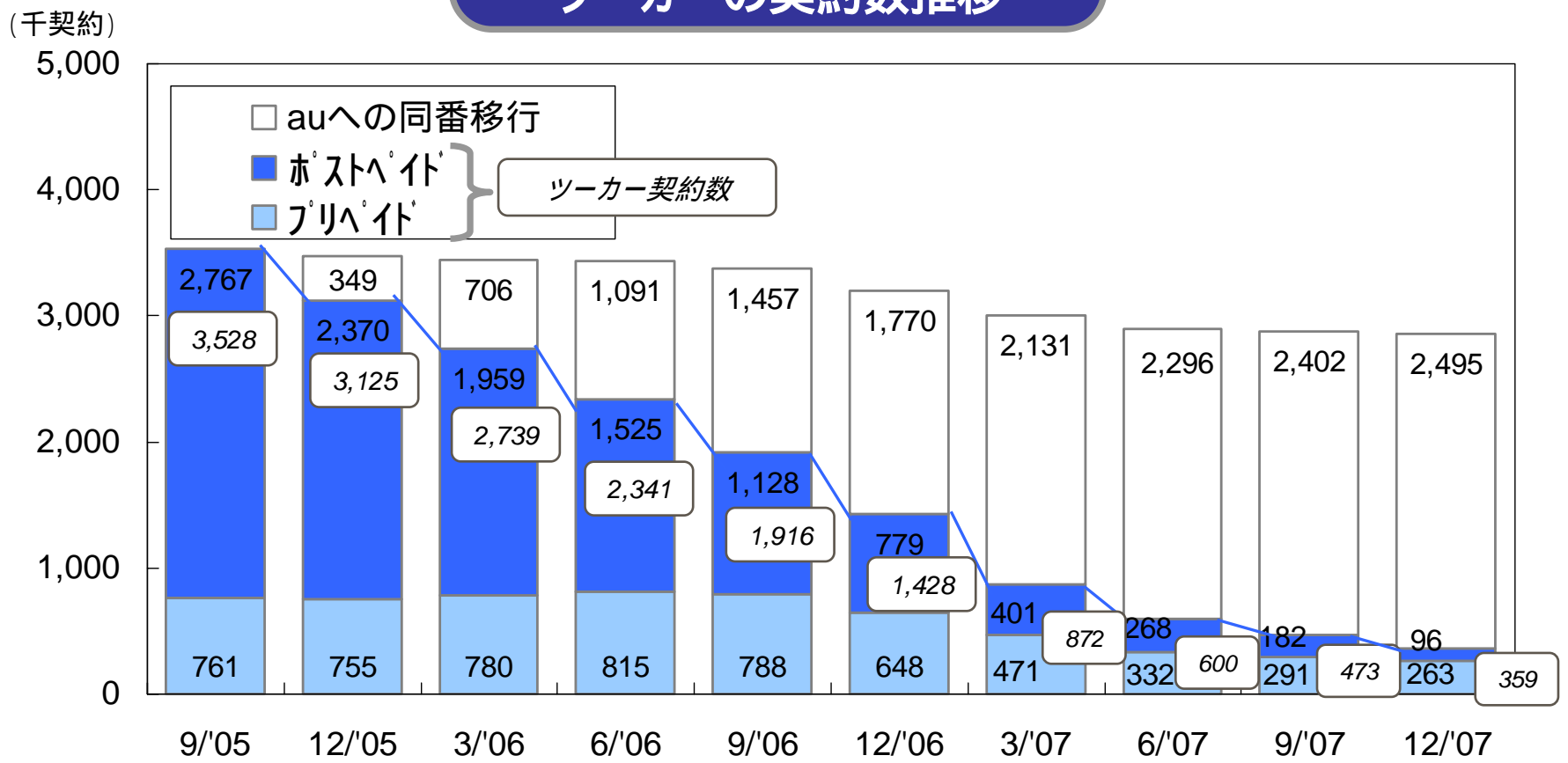
今後の
 対応

- ▶ 07秋冬モデルに加え、08春モデルの投入による端末ラインナップの強化。
- ▶ ポイント優遇策等優位性の認知向上に向けた広告、店頭での訴求の強化。

3. ツーカー・サービス終了に向けて

ツーカーのauへの同番移行は1-3Qに36万、累計で250万(2005年10月～)。
 2008年3月末のサービス終了に向け、ポストペイドのお客様を中心にauへの同番
 移行またはサービス停止のご了解をいただくべく、訪問・テレマーケティングを行う。

ツーカーの契約数推移

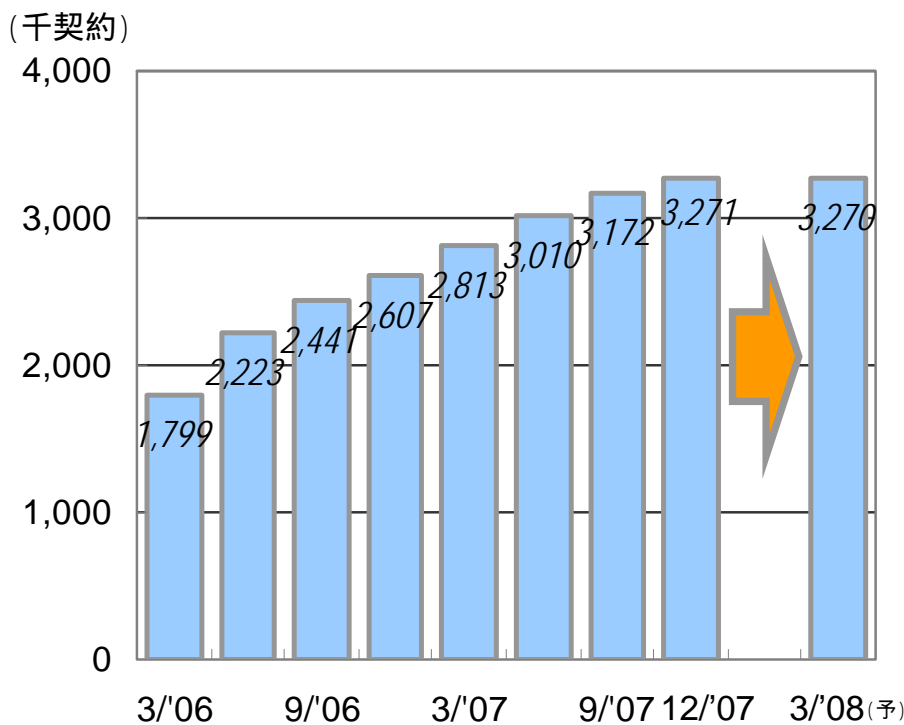


1. メタルプラス・ひかりone (FTTH)

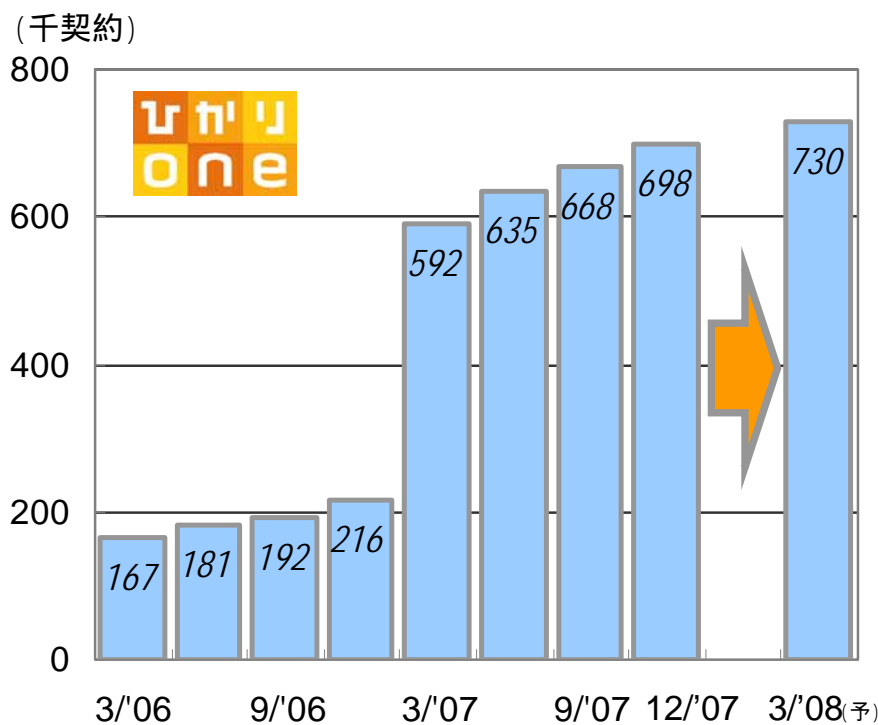
メタルプラスの12月末累計契約数は327万に増加。

ひかりone (FTTH) の12月末の累計契約数は70万に増加。

メタルプラスの契約数(注)



ひかりoneの契約数

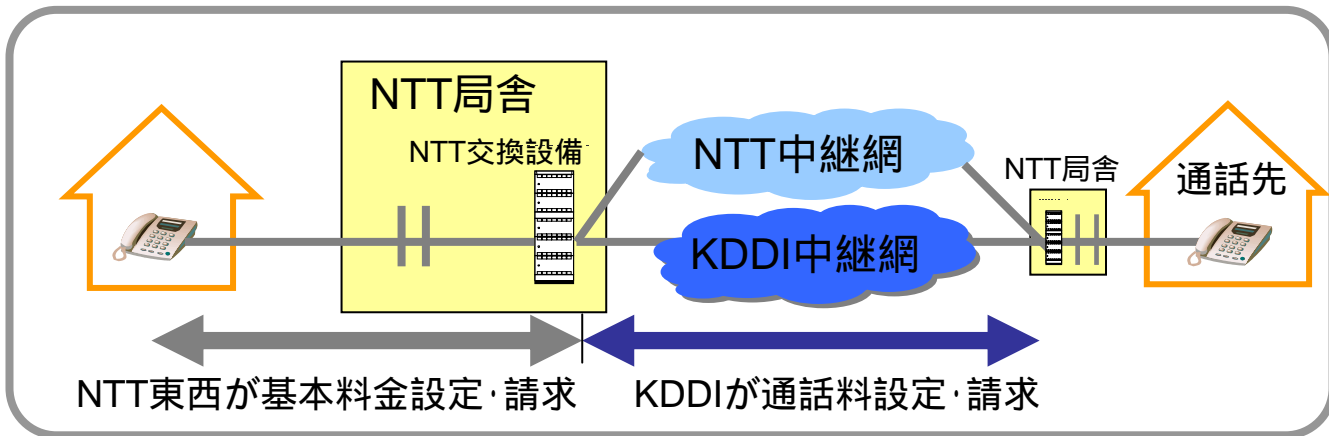


(注) ADSL oneを含む。

2. ケーブルプラス電話

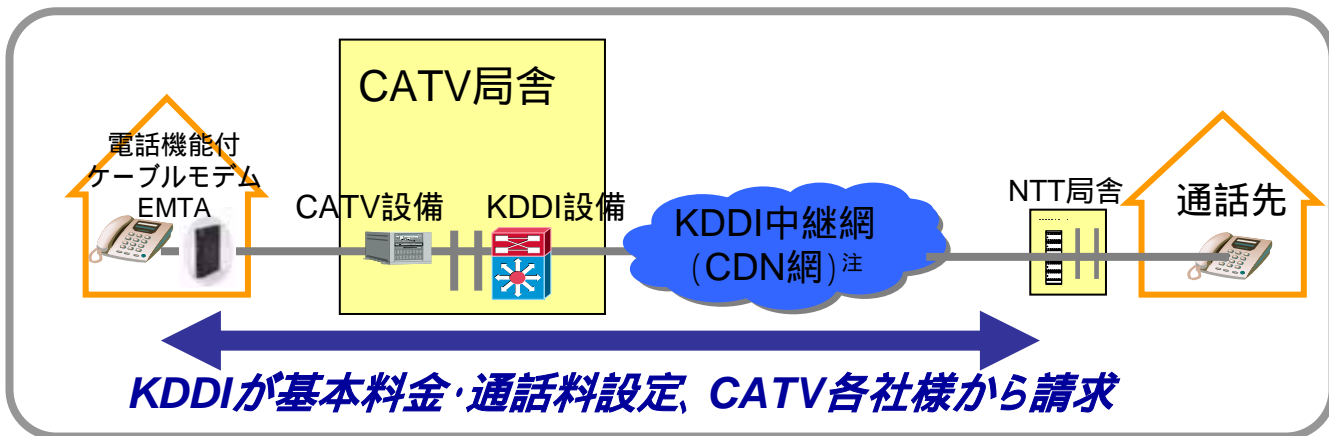
KDDIはCATVのトリプルプレーを支援すべく、ケーブルプラス電話を提供。
12月末時点で対応局は38局(うちJCNグループ局14局)、契約数は22万。

これまでの
電話サービスの
仕組み
(マイライン)



CATV各社様の回線設備
(同軸ケーブル)を活用

ケーブルプラス
電話の仕組み



(注) CDN: Contents Delivery Network

ワイヤレスブロードバンド企画株式会社 (WBB) は、総務省より、2.5GHz帯周波数を使用する特定基地局開設計画の認定を受ける (12月21日)。

事業計画概要

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| ■ サービス開始予定 | 試験サービス: 2009年2月
商用サービス: 2009年夏 |
|------------|-----------------------------------|

- | | |
|---------|-----------------------|
| ■ エリア展開 | 2012年度末で90%超 (人口カバー率) |
|---------|-----------------------|

- | | |
|---------|-------------------|
| ■ 契約数想定 | 約560万契約 (2013年度末) |
|---------|-------------------|

- | | |
|--------|-------------------|
| ■ 収入想定 | 約1,450億円 (2013年度) |
|--------|-------------------|

- | | |
|----------|------------------------|
| ■ 設備投資規模 | 約1,440億円 (2013年度までの累計) |
|----------|------------------------|

- | | |
|--------|-----------------|
| ■ 事業目標 | 事業開始4年目で単年度黒字達成 |
|--------|-----------------|

